

都筑区 区民文化センターニュース 第7号

発行：令和3年7月21日

本市では、区の文化活動拠点となる都筑区民文化センター（仮称）の整備を進めています。今回のニュースでは、開館予定時期の変更と本事業の進捗状況についてお知らせします。

1 開館予定時期の変更について

(1) 開館予定時期

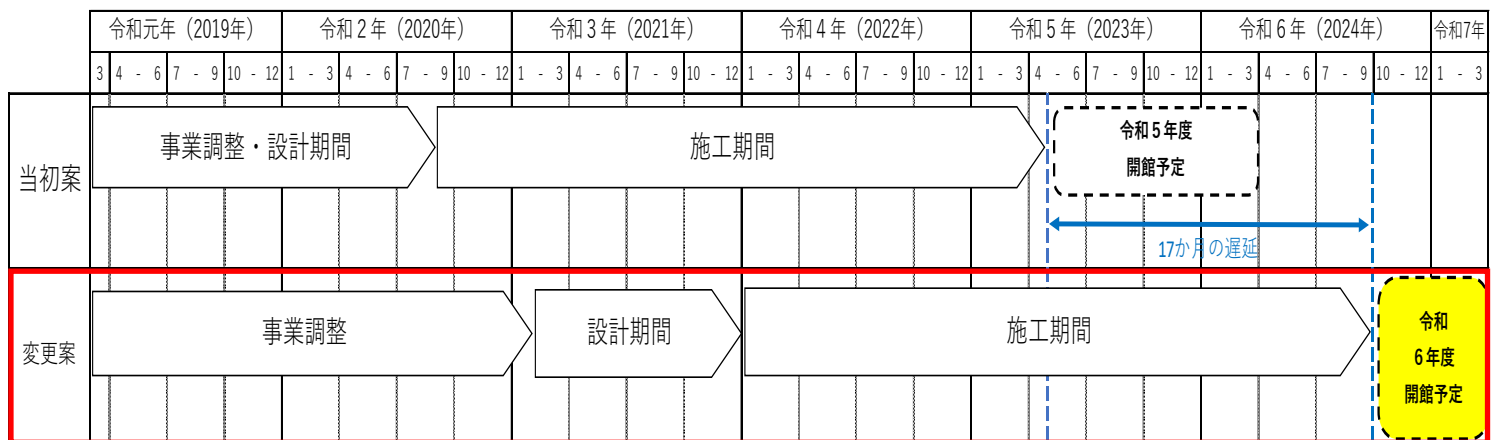
令和5年度の開館を目指して事業を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業者による設計施工体制の決定と本格的な設計の着手が遅れたため、開館予定時期を令和6年度として、引き続き事業を推進します。

(2) 整備スケジュール

令和4年1月に施工が開始され、令和6年9月までに区民文化センターが本市に引き渡される予定です。その後、本市での開館準備期間を経て、令和6年度の開館を目指します。

※当初案では、令和2年9月に現地での施工を開始し令和5年度の開館を目指していました。

※整備スケジュールの変更に伴う、区民文化センターの施設内容や設計施工体制の変更はありません。



<< 参考1:事業概要 >>

都筑区中川中央一丁目9番に所有していた市有地（約1.2ha）を事業提案型公募にて民間事業者へ売却し、民間事業者が区民文化センターを含めた施設を整備し、完成した区民文化センターを横浜市が取得する土地活用事業です。

<< 参考2:完成イメージ >>



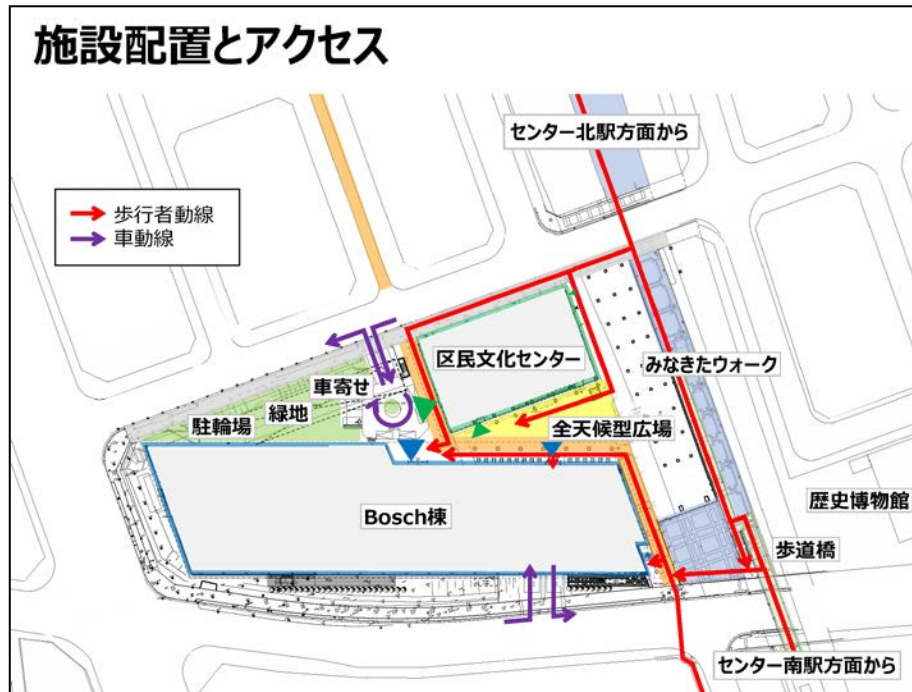
※こちらのイメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

2 事業の進捗状況について

※本資料に掲載している情報は、今後の設計などで実際の建物と異なる場合があります。

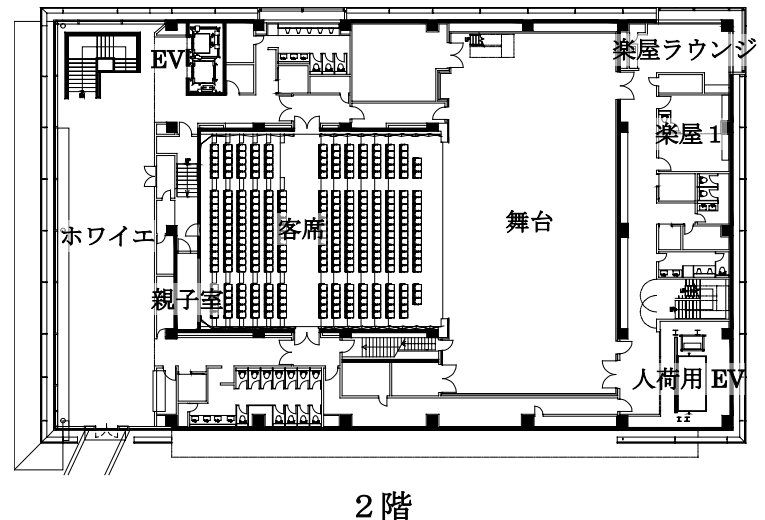
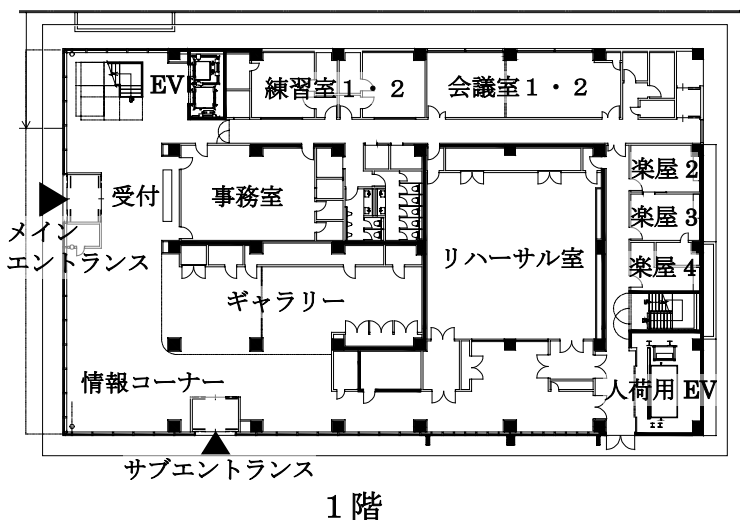
(1) 施設配置のコンセプト

区民文化センターの顔となるメインエントランスを緑地に面した西側に、サブエントランスをイベント会場ともなる全天候型広場側に配置するほか、みなきたウォーク側からのアクセスにも配慮し、設計を進めています。また、令和6年度の開館に向けて、区民文化センター周辺の活性化や賑わい創出など、魅力あるまちづくりの検討を進めています。



(2) 区民文化センターの施設構成

2階のホールは、横浜市都筑区における区民文化センター基本構想答申において示された「多目的な演目に活用できる舞台」を実現するため、ゆとりのある奥行きを確保し舞台設計を進めています。また、その他の諸室についても、基本構想に則り、設計を進めています。



民間施設部分を含む、事業全体計画につきましては、ボッシュ株式会社ホームページをご覧ください。
「都筑区民文化センター(仮称)およびボッシュ・グループ研究開発拠点の新設事業」<https://corporate.bosch.co.jp/>

